

幹部会議議事概要

【幹部会議】

1 日 時：令和6年1月22日（月）09時51分～10時20分

2 場 所：知事室

3 出席者：9名

玉城知事、照屋副知事、池田副知事、島袋政策調整監、
知事公室長、総務部長、企画部長、環境部長、土木建築部長

4 内 容：

(1) 三役等日程について

(今週の主な日程)

22日 県外大学等4校との就職支援協定締結式（玉城知事）

〃 着任挨拶 海上自衛隊 佐世保地方総監 俵 千城 海将（玉城知事）

〃 花き・野菜・果樹品評会、フラワーデザインコンテスト及び海ブドウ品評会における受賞者による副知事への農水産物贈呈式（照屋副知事）

〃 那覇商工会議所新会館落成記念式典（照屋副知事）

〃 那覇商工会議所新会館落成記念式典（照屋副知事）

〃 表敬 岩手県 副知事 八重樫 幸治 氏 ※岩手県と沖縄県の「かけはし交流」30年の御礼（照屋副知事）

〃 日本航空 感謝の夕べ（照屋副知事）

23日 沖縄県渇水対策本部会議（照屋副知事）

25日 美ら島観光大使認証式（玉城知事、照屋副知事）

〃 沖縄観光感謝の集い（玉城知事、照屋副知事）

26日 表敬 北那覇法人会※健康経営大賞受賞報告について（池田副知事）

〃 米海兵隊第3海兵遠征軍司令官交代式（池田副知事）

〃 令和6年新春懇談会（主催：沖縄経済同友会）（池田副知事）

26日 講義 沖縄国際大学「行政実務論」（玉城知事）

〃 JTB 社の賑わい（照屋副知事）

〃 第59回九州首市医師会連絡協議会懇親会（池田副知事）

(2) 報告事項

ア 沖縄県渇水対策本部の開催について（企画部）

イ 北部訓練場返還跡地において手りゅう弾らしきものが発見されたことによる外来種防除への影響について（環境部）

(3) その他

県政情報に係る発表事項等について（知事公室）

5 知事等発言

なし

以 上

報告事項等

所管部局：企画部

件名	沖縄県渇水対策本部の開催について
内容	<p>【経緯・現状】</p> <p>1 最近の水事情 (1) 沖縄本島の 11 ダム貯水率は 1 月 18 日現在 58.0%となっており、平年値 79.2%を 21.2 ポイント下回っている。 ※ 昨年 8 月の台風でまとまった雨が降って以降、降水量が平年を大きく下まわっている</p> <p>(2) 今後の降雨の見込み 1 ヶ月予報：少ない(気象庁 1 月 11 日発表) 3 ヶ月予報：平年並か多い見込み(気象庁 1 月 23 日発表)</p> <p>2 関係機関の動向 (1) 県企業局 ・海水淡水化施設の最大稼働(1 日あたり 3 万 7,000 トン 1 日に消費する水の約 10%)、中部水源(嘉手納井戸群、天願川など)については、貯水率の目標を設定せず、可能な限り取水しない方針。</p> <p>(2) 沖縄県渇水対策連絡協議会 (沖縄総合事務局所管) ・県から各部局長が委員として参加 ・16 日(火)に臨時会を開催し、関係機関の対策状況や県民向けにチラシを作成し節水呼びかけ</p> <p>【今後の見通し】 ・このまま小雨傾向が続けば 2 月中旬頃に 50%を切る可能性がある。 ・沖縄総合事務局所管の沖縄県渇水対策連絡協議会では、貯水率が 35%(3 月)、30%(4 月)程度になると給水制限も視野に入れる見通し</p> <p>【県の対応等】 知事を本部長とし各部局長が委員となる「沖縄県渇水対策本部」を 1 月 23 日(火)に開催し、各部局を通して関係機関へ節水を呼びかける(約 6 年ぶりの開催となる)。</p>

報告事項等

所管部局：環境部

件名	北部訓練場返還跡地において手りゅう弾らしきものが発見されたことによる外来種防除への影響について
内容	<p>【経緯・現状】</p> <p>平成 28 年 12 月に返還された北部訓練場の返還跡地（以下「北部訓練場跡地」という。）において発見された廃棄物等の調査や処理については、沖縄防衛局が、実施しているところである。</p> <p>令和 6 年 1 月 12 日に、沖縄防衛局は、北部訓練場跡地での廃棄物等の調査中に発見した手りゅう弾らしきものを現場に一時保管していたところ、当該手りゅう弾らしきものが、亡失していることが判明したと、HP 上で公表を行った。</p> <p>この公表を受け、同月 13 日、県環境部自然保護課に、土地管理者である沖縄森林管理署から、当面の間、やんばる地域の国有林への入林を控えるよう要請があったところである。</p> <p>【課題】</p> <p>環境部では、世界自然遺産地域及び北部訓練場跡地を含む国有林において、外来種対策としてマングース、ノネコ、ノヤギの捕獲等を行っているが、現時点で立ち入り制限解除の見通しが立っていないため、外来種の防除がその間滞ってしまう可能性がある。その結果、ヤンバルクイナ等の希少種に対する捕食などの外来種による影響が拡大するおそれがある。</p> <p>【県の対応等】</p> <p>環境部では、早期の防除再開に向けて、沖縄森林管理署と協議を行い、立ち入り制限が解除され次第、外来種防除の作業を再開したいと考えている。</p>